

職場でのクラスター発生防止対策 企業・事業所向け研修会を実施

12月23日、県内事業所で新型コロナウイルスのクラスター発生が続いていることを受け、市保健センターで市内の企業・事業所に向けた感染対策の研修会を開きました。

会には、事業所関係者らが出席したほか、市内50以上の企業・事業所がオンラインで参加。岡山大学大学院の頼藤貴志教授、川崎医科大学附属病院の平田早苗看護師長、備中保健所の前原幹子課長を講師に招き、新型コロナウイルスの基礎知識や企業としての感染対策、感染発生時の対応などについて研修を実施しました。

当日の研修内容は、市ホームページに掲載しています。



市HP



頼藤教授は、企業・事業所の感染対策として、「従業員の日々の健康状態を確認・記録し、症状があれば休める体制づくりをすることが必要」と話した

発熱や咳などの症状が出た場合／感染症対策

風邪・インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症は、いずれも発熱や咳など初期症状が似ています。

症状がある場合は、無理をして学校や職場へ行かず、医療機関へ相談し診療・検査をしましょう。

◎かかりつけ医がいる場合

かかりつけ医に電話相談しましょう。かかりつけ医で受診するか、発熱対応が可能な医療機関への紹介を受けられます。休日でもかかりつけ医が休診の場合は、休日当番医に電話相談して受診してください（14ページ参照）。

市内の発熱対応やPCR検査が可能な公表医療機関は次のとおりです。

【発熱患者などの診療・検査機関】

長野病院、薬師寺慈恵病院、角田医院、高杉こどもクリニック、岡ハートクリニック、藤井クリニック

◎かかりつけ医がない場合

県ホームページで診療・検査医療機関を探るか、受診相談センターに電話して紹介を受けましょう。

【県ホームページ】

<https://www.pref.okayama.jp/kinkyu/645925.html>

【受診相談センター】

- ・備中保健所
☎ 086-434-7072、平日 9:00～17:00
- ・岡山県一般相談窓口
☎ 086-226-7877、24時間対応



県HP

県内でも急激に感染が拡大しています。改めて、次の点にご協力をお願いします。

- 症状がなくてもマスクを着用する
※発症前や無症状の場合でも人へ感染させる可能性があるため、マスクを着用する必要があります
- 咳エチケットを徹底する
- まめに手洗い・手指消毒を行う
- 3密（密集・密接・密閉）を回避する
- 大声を出さない
- 30分に5分換気をしながら、加湿器や洗濯物の室内干しで加湿をする
- 人との間隔をできれば2m、最低1m確保する

- ▼ 毎朝体温測定・健康チェックを行う
- ▼ 発熱や風邪の症状がある場合、無理せず自宅で療養する。市役所や公共施設への来所、イベントへの参加は控える
- ▼ 新しい生活様式を実践する
- ▼ 不確かな情報に惑わされることなく、正しい情報に基づいて落ち着いて行動する
- ▼ 感染者や濃厚接触者、医療従事者などへの誹謗中傷や人権侵害を絶対に行わない
- ▼ 新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）をインストールする
※詳細は、厚生労働省ホームページを確認してください

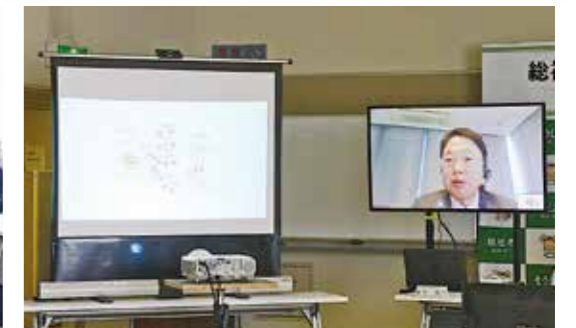


厚生労働省HP

新型コロナウイルス感染症対策

問い合わせ 新型コロナウイルス感染症対策室 ☎ 8259

ワクチンの接種に向けプロジェクトを開始 新型コロナワクチン連絡会議を開催



市長は、「今日をキックオフとし、ワクチン接種のプロジェクトをスタートさせる」と述べた（写真左）
森下教授の講演は、WEB会議ツールを活用してオンラインで実施（写真上）

新型コロナウイルスワクチンの接種に向けて、関係機関や関係者と連携し準備を進めるため、12月22日に市保健センターで連絡会議を行いました。

大阪大学大学院の森下竜一寄付講座教授がオンラインで参加し、ワクチン開発の現状について講演。「ワクチンの有効性や副反応・副作用など、メリットとデメリットを理解した上で接種を進めることが大切」と述べました。出席した医師や地域関係者からは、「ワクチンの接種に関しては、スピードや効果など人によって優先すべき点が異なるため、グループ分けして対応する必要がある」、「正しい情報を市民にしっかりと伝え、理解につなげていきたい」などの意見が出されました。

また、同日付けで人事異動を発令し、新型コロナウイルス対策室に職員を5人増員。同室内に新型コロナワクチン対策チームを組織し、迅速・安全な接種体制の構築を進めています。



大阪大学大学院寄付講座教授
森下 竜一

総社市出身。大阪大学大学院医学系研究科で臨床遺伝子治療学を研究。現在、自身が創業した医療ベンチャー「アンジェス」と同大学の共同研究で、新型コロナウイルスのDNAワクチン開発に取り組んでいる。

総社市でのワクチン接種について

現在、国内外でワクチンの研究開発が行われています。日本はファイザー社・モデルナ社・アストラゼネカ社と合意や契約をしており、各社からの申請を受け、審査や承認を進めていく予定です。市では、ワクチンが承認されて流通した際、希望者に速やかに接種できるよう、吉備医師会や関係者と連携し準備に取り組んでいます。

市内公共施設の接種会場や医療機関などでの接種

は、早ければ3月下旬から開始する見込みです。自己負担はなく、無料で接種できます。詳細は、決まり次第お知らせします。

国が承認したワクチンを接種していくことは、自身や家族の健康、地域全体の感染拡大防止のために大切なことです。市民の皆さまが安心して接種できるよう、副作用・副反応などへの相談・対応も充実を図り、準備を進めていきます。